

定住自立圏の形成に関する協定書の一部を変更する協定書

平成27年3月27日に天理市（以下「甲」という。）と川西町（以下「乙」という。）との間で締結した定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定を次のとおり締結する。

別表第1の3の環境の分野を次のように改める。

3 環境

(1) 一般廃棄物処理施設の効率的な運営

取組内容	甲の役割	乙の役割
<p>一般廃棄物処理施設の効率的な運営を行うとともに、より一層のごみの減量やリサイクルの推進等に取り組む。</p> <p>持込ごみについては、圏域住民の利便性向上のため、事前予約システムを導入し窓口を一本化する。</p>	<p>甲は、新ごみ処理施設の安定的な処理体制の確保に努めるとともに、乙と連携して、ごみの減量やリサイクルの推進等に取り組む。</p> <p>甲は、持込ごみについて、事前予約システムの安定的な運用、搬入者及び搬入物の確認等の一連の業務を行う。また、事前予約制の住民等への周知を行う。</p>	<p>乙は、新ごみ処理施設の安定的な処理体制を確保するため、必要な協力を行うとともに、甲と連携して、ごみの減量やリサイクルの推進等に取り組む。</p> <p>乙は、事前予約制の住民等への周知を行い、甲の運営に協力する。</p>

別表第2中

「1 地域公共交通

(1) 地域公共交通の維持・活性化の推進

取組内容	甲の役割	乙の役割
<p>圏域住民の移動手段の確保や利便性の向上及び圏域の活性化を図るため、圏域の特性や実情に即した効率的で利用しやすい地域公共交通網の構築を図る。</p>	<p>甲は、既存の公共交通の利用を促進するとともに、乙と連携して、圏域における地域公共交通の実情を調査、検証し、必要に応じて最適な交通手段の検討、導入に向けて取り組む。</p>	<p>乙は、既存の公共交通の利用を促進するとともに、甲と連携して、圏域における地域公共交通の実情を調査、検証し、必要に応じて最適な交通手段の検討、導入に向けて取り組む。</p>

を

「1 デジタル

(1) DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

取組内容	甲の役割	乙の役割
<p>圏域で連携し、DXに関する情報の共有化を図るとともに、利用者視点に立ったデジタル技術の利活用を通じて、情報格差（デジタルデバイド）の解消も含めた住民サービスの利便性向上に取り組む。</p>	<p>甲は、圏域の合同情報交換会を開催することにより、乙と連携して、デジタル技術利活用に対する意識の向上と支援体制の構築を図る。</p>	<p>乙は、圏域の合同情報交換会に参加することにより、甲と連携して、デジタル技術利活用に対する意識の向上と支援体制の構築を図る。</p>

に改める。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、それぞれ1通を保有する。

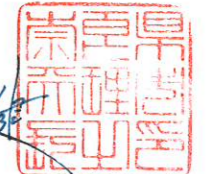
令和6年12月17日

甲 天理市川原城町605番地

天理市

天理市長

道河 健



乙 磯城郡川西町大字結崎28番地の1

川西町

川西町長

小澤 晃広

